

病院玄関に見事な菊

城西病院の新館玄関わきに11月、見事な菊がお目見えしました。

この菊は、全日本菊花連盟公認審査員で同連盟茨城支部長を務める大羽功三郎さんの作品です。大羽さんは、全国で開かれる有名な菊の展示会で審査員を務めるとともに、後進の指導にも熱心で、自らも作品を育てているといいます。毎年のように、丹精込めて育てた菊を病院の玄関に飾っていただいています。

今年もコロナ禍で、全国の菊の品評会などが中止になったり、規模が縮小されているといいます。このため大羽さんは、選び抜いた大輪やドーム菊などの作品を城西病院の玄関前に飾りました。

玄関の向かって右側に飾られたドーム菊は、春に出た小さな芽を大事に育てて、ドームのように菊を咲かせた作品です。赤、ピンク、黄色の色鮮やかな菊が咲いています。玄関左側は厚物や管物の作品。同じ種類の作品は、高さを一定に保って咲かせるのが大変といい、見事に咲きそろったときは、病院を訪れる人たちの目をとどめていました。

2020年11月4日

